

2023年7月13日 第3回 世田谷区地域経済発展を目指す会議



世田谷区産業振興公社
竹内 明彦氏



世田谷区工業振興協会
千葉 寿典氏

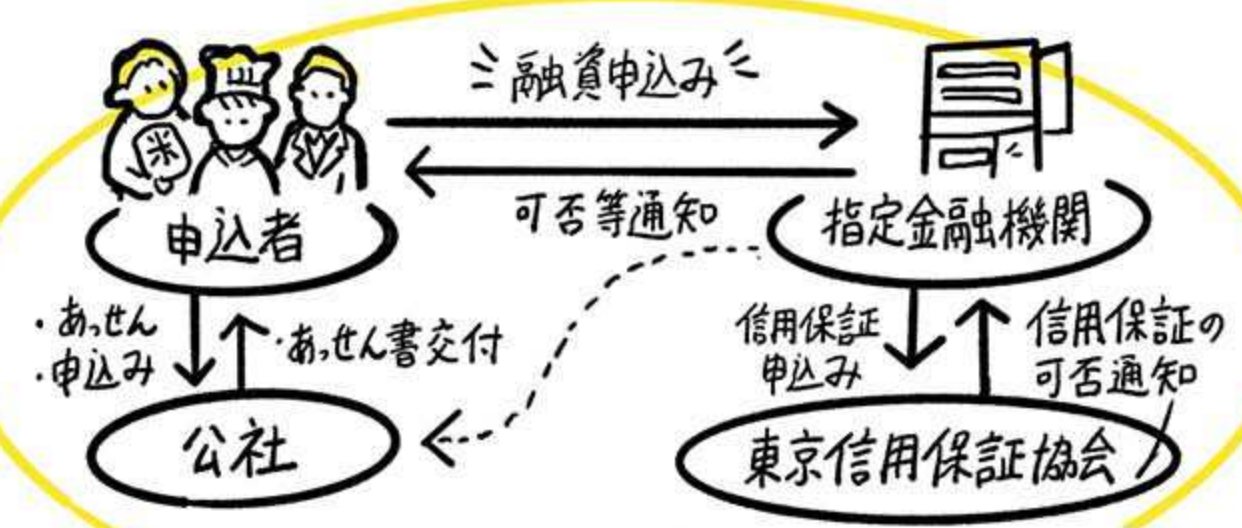


三茶ワークカンパニー
株式会社 代表
吉田 亮介氏



慶應義塾大学
メディアデザイン研究科
吉田 凌太氏

- 主要事業 (今回は2つ紹介)
- ① 融資・経営相談
 - ✓ 中小事業者向け制度融資のあせん
 - ✓ 補助金の要件確認等の支援



循環が大切 → 融資あせん件数や貸付額を増やしたい。

参考

2022年データ
融資件数... 2035件
融資額... 10,616百万円

派遣
中小企業診断士

経営支援コーナー-中小企業件走型支援

無料経営相談

- ② 地域活性化・観光
- 「三軒茶屋観光案内所の利用者増加」
令和5年6月 日本人 1855 外国人 450
- 令和5年度のまちなか観光交流協会の取組
 - (1) 交流会の開催
 - (2) テマを設定した部会の開催
 - (3) イベント出展機会の提供
 - (4) 世田谷みやげとの連携
- スポーツ部会の立ち上げ

昭和63年設立!

企業の健全育成 地域産業の振興

発展 ↑ 世田谷 ↓ 発展 ↑

- ものづくり基盤技術強化
 - 2019 防災産業展 in 東京 「災害時非難誘導塔 (AE-TOWER)」を展示
 - 区民まつり等イベントへの参加
 - 工業事業所PR、情報提供事業 「世工振ニュース」発行

- 準工業地域の保全・拡充
 - 池尻地域
 - 経堂地域
 - 船橋地域
 - 桜新町地域の一部
- 都市計画法上の工業系用途地域
区全体 0.67%

～ 今後を見据えて～

会員増強! 若手経営者の加入

連携! 農 工 商 協業

事業と構築! IDEA

SNS 宣伝活動

DX

多くの人が集い楽しむ
フーズマーケット

仮設

新たな出会いやコンテンツが生まれていく仕掛けが肝?

まちから挑戦する人が集う
ピッチイベント

異なる機能の混じり合い
新たな出会い・応援

まちを豊かにするコンテンツ創出!

会社概要

- 01 欲しいを形にしたわがまま空間
まちのワークスペース 三茶WORK
- 03 世田谷からのチャレンジをサポート
SETA COLOR, NEIGHBOR SCHOOL

フーズに合わせた支援プログラム

まちのつながり

相談 支援

チャレンジを促進

応援し合える環境

ごちゃませ!!

スポーツの可能性!

Who? 世田谷区に在住/在住する20代の目線

What is? 世田谷区での生活や感じる想いを

How? 可視化し、伝えることで知ってもらう

学生の声 Interview!

- 「一人で何か参加するのは怖い」
- 「人に触れて初めて、良さを知る」
- 「色々挑戦したいが、結局わからない」

⇒ 機会が必要、相談先がわからず、自己完結してしまう...

Z世代の仕事意識

- 収入や経験の増加より、仕事内容やワークバランス
- 仕事は私生活を充実させる資金集め的手段
- 社会的課題の解決・参加に関心

9~17時の7時間は未来を保証してくれない

選択肢の多様性!!

デザイン=価値創造!!

複業、小さくチャレンジ、参画しやすい環境

可能性は、無限大!!

2023年7月13日 第3回 世田谷区地域経済発展を目指す会議

世田谷区商店街連合会
栗山和久さん

商店街 = 自然に発達してきた
→ にぎわいを創出 (公共としての役割)
例: 街灯の灯かり
まちの人にとって大切な景観。
商店街が解散すると消えてしまう...

→ 組織強化が必要。



若手創業者の理解を促進したい

世田谷工業振興協会
千葉寿典さん

機能も教えても浸透しない...
間に入ってコミュニケーションを取る人が必要

「若手への理解必要だね」
若手
信用できるかな? めんどくさい... 例が自分に合っていない
スタートラテン

区民・産業がつくる

世田谷の新たな価値の豊かさ

まちなみ、DX、中小企業、農業

区民生活を支える多様な地域産業の持続性の確保に向けた基盤強化を図る。(資料6)

デジタル化は決定的に欠けている
長山宗広 委員長

現状: 働き手を外国人に頼ってしまい技術が継承されない...

東京商工会議所世田谷支部
古谷真一郎さん

2018年の資料内容の実現
できていない

目指す姿の具体的な将来像は?



ビジネスの前提として...
ニーズを捉える 時代に対応!!

企業努力
国や行政がやっている補助金を調べて受ける
※行政も情報発信やプロダクトアウトの工夫が必要。
全てを救うことは難しい。

世田谷区しきん協議会
中山耕輝さん

伝統的な業種にもう一度目を向けたい

例えば商店街。それぞれ工夫されている。
例: 下北沢商店街の連絡手段をDX化。
工業、農業、建築も応援したい。
保護という視点ではなく、ニーズを捉えて支援。

I LOVE 下北沢

フリーランス協会理事兼事務局
中山綾子さん

全国462万人のフリーランスがいる (コロナ前)
DXはフリーランスにとって売り手市場
外部の人を入れていく人が流入する仕組み!

世田谷区建設団体防災協議会
兒玉奈輔さん

大工さんや建築業に夢を持つ人が減った。

昔 = 建てる → 今 = 買う
時代の变化
ものづくりを通して、建築業とユーザーの距離を近づけたい

